

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 7 期 定 時 総 会
議 案 書

開催日時 平成 25 年 6 月 1 日 (土) 午後 1 時 30 分～

開催場所 アネックスパル法円坂 3 階 多目的ルーム 3 号

定 時 総 会 議 事 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶 1) 理事長挨拶
2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
 - 1) 会議成立要件の確認
 - 2) 議事録署名人の選任
 - 3) 議案審議
 - 第1号議案 第7期事業報告承認の件
 - 第2号議案 第7期活動計算書報告と監査報告承認の件
 - 第3号議案 役員選任の件
 - 第4号議案 第8期事業計画（案）の件
 - 第5号議案 第8期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

第1号議案 第7期事業報告

1. 第7期事業総括報告

昨年度は、国内の大きな動きとしては衆議院解散に伴う総選挙が行われ自民党が過半数を制しました。安倍首相が矢継ぎ早に景気振興策を打ち出し、デフレ脱却を図ろうとしています。

このような状況下にあつて私たちシルバーアドバイザー・ネット大阪（以下、SA ネット大阪と略）は、その影響を受けることなく4事業部とも地道な活動を続けて参りました。

その結果僅かながらも収支戻は黒字を計上、正味資産を増やすことができました。

「おもしろ算数教室事業部」は八尾、柏原地区を中心に年間30回を超える出前講座、施設、小学校訪問を実施。いずれの地区でも再訪問要望を受けていますし、「おもちゃづくり事業部」では、助成金を活用し、延22回の出前講座、イベント参加で計約1600人の児童、高齢者、障がい者等参加者との交流を行いました。

「国際交流事業部」は国際交流サロンを年4回実施。いずれも予想以上の参加者があり留学生、在日外国人、同支援者との交流を図りました。

堺市「ビック・アイ バリアフリープラザ」での介護用品説明ボランティア活動は、2年目に入り定着して委託先からの信頼も厚く、現在では同所にとっては無くてはならない存在です。

このようにどの事業部も過去の年間活動記録に匹敵するか、それを上回る成果を収めることができました。

第7期の主な事業と今後の課題

(1) 渉外ネットワーク活動

大阪府高齢者大学校、大阪アクティブシニア協会等の事業活動に係わり、各講座、各種イベント、出前サポートバンク、アクティブシニアフェスタ等に参加、協力しました。

(2) 広報活動

広報誌「SA ネット大阪ニュース」は、第13号から第15号まで年3回発行。事業報告に加えイベント計画の紹介・PRに重点を置きました。

また、ホームページを随時更新、各部の活動をタイムリーに紹介。併せて内容の充実を図りました。

(3) 理事会

定例理事会を年12回実施、各部の事業展開の報告と事業推進方策について討議しました。

(4) 今後の課題

- ① 自主事業の3事業部は、いずれも現在の活動を更に充実、発展させるため中長期の戦略を討議していきたいと考えています。
- ② 新たに企画している（公社）大阪府看護協会との連携による「介護福祉用品説明ボランティア事業」を是非実現を目指します。

- ③ 会員数の増加はここ数年の課題であるが、広報活動と共に日常の活動の中での問題意識付けを図っていきたいと思っています。

2. 事業部活動報告

1) 介護福祉事業部活動報告

平成23年8月より国際障害者交流センター（堺市南区茶山台1丁、通称：ビッグ・アイ）のバリアフリープラザスペースにある展示介護用品の説明をはじめ、障がい者利用のパソコンの立ち上げ、図書の貸し出し、障がい者仕様の諸設備の説明を行いました。

また、年度内に開催された障がい者の絵画展や、啓発イベントの準備や案内等に協力しました。

ビッグ・アイとの委託業務契約も更新され新年度も引き続き活動します。

年間活動日数 226 日（平日のみ、企画展開催時は出勤なし）延 427 人参加

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動報告

従来実施していた「おもちゃ工作教室」に加え、大阪市内の小学校「いきいき活動教室」や、ぷらら天満での「工作教室」等出前教室を年延8回催しました。

いずれも児童たちが熱心に受講し「おもちゃづくりの最初から仕上げまで」行い、ものづくりの楽しさ、うれしさを体験しました。

更に各種イベントに参加し、「伝承手作りおもちゃづくり」を通じて子どもや若い親たちと三世代交流を行いました。

エール学園での海外からの若い留学生との交流を図る企画は、先方のカリキュラムの都合で実施できませんでしたが、同学園のイベントに参加できました。

他のイベント、四天王寺「古本市」、近畿労金「ろうきん祭り」等では、子ども、大人の別なく来場者と共に楽しみました。

恒例の「おもしろ算数教室事業」との共催も同じ会場で行いパズル体験が好評でした。

なお、「おもちゃづくり事業部連絡会」を毎月開催（8月を除く。第3火曜日）。実施した「工作教室」、参加イベントの反省、予定イベントの打合せ、新種おもちゃの紹介、情報の交換等行っています。

おもちゃ教室イベント参加通算 22回 SA参加者 延122名

来場者 1578名

教材読本（伝承手作りおもちゃ読本他）頒布販売 64冊

3) おもしろ算数教室事業部活動報告

I. 出前教室・・・高齢者向け3回、小学生向け1回実施

- ① 高齢者向けに、初めて実施したところでは、「算数は嫌い」と、会場を去られた方もいて残念でしたが、参加者には、楽しんでいただきました。一方、継続的に実施をしているところでは、「このように面白い教室を、今まで知らなかったことが残念だ」とおっしゃる方々等、参加者がどんどん増えています。「いつまでも心身ともに元気に過ごしたい」と、楽しみながら、参加して下さっています。
- ② 小学生向けに実施した1回は、参加した小学生が「次は、いつ来てくれるの？」と声をかけてきます。その要望に応えるべく再訪問を実現させたいです。

II. パズル体験・・・5回実施

- ① 春と秋の四天王寺の古本市では、繰り返し来てくれる子ども達の姿、また、高齢者とお孫さんとのパズル対決の姿に、それぞれに楽しんでいる様子がかがえました。そして、この教室の狙い「子どもには、考える力を！ 高齢者には脳の活性化を！」が、この様に楽しみながら、身につくことを目指して、活動をしました。
- ② アクティブシニア・フェスタでは、予想以上にパズル体験の参加者が多かったようです。「算数パズルが、面白い」と、聞いて来られた方が、4名おられたことは、今までになかったことで、活動への意欲が深まりました。

III. サポーター会・・・春と秋に実施

- ① また、今後の活動を広げるためのテキストの作成をしました。
- ② 新しいパズルの紹介や、取り組みをし、サポーター間の交流を深めました。

4) 国際交流事業部活動報告

I 運営委員会を開催しサロンその他の企画を検討

- ① 4月21日(土) ② 5月19日(土) ③ 6月16日(土) ④ 7月21日(土)
- ⑤ 10月20日(土) ⑥ 12月22日(土) ⑦ 1月19日(土)
- ⑧ 2月16日(土) ⑨ 3月25日(月) 以上9回開催。

国際交流サロンの企画・講師・会場・内容・集客方法等を検討し決定しました。

II 国際交流サロンを4回開催(第20回～第23回)

- ① 5月26日(土) 万能の天才「ゲーテに学ぶ」第20回国際交流サロン(47名参加) 放送大学大阪学習センター所長林正則氏の講演と耕善一郎先生の指導でシューベルトの「野ばら」を全員で合唱しました。
- ② 9月15日(土) 第21回国際交流サロン「アフリカと私たち」(54名) 大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授ヴァージル ホーキンス氏による講演と5名の留学生との交流会
- ③ 11月10日(土) 第22回国際交流サロン「コートジボアールから日本留学」(28名) コートジボアールからの留学生による講演と10名の留学生との交流会

④3月3日（土）第23回国際交流サロン「英語落語」（おふく寄席）と八尾市のゴスペルグループ「どんなくわいやお」大阪日本語教育センター（84名）

Ⅲ 日本語支援の各種講演会情報・講演会・催事の情報収集と会員へのPR

5) 企画部事業活動報告

平成24年度は、大阪府看護協会の協力で2回講座を開催致しました。

第1回は、5月28日～29日に「介護研修と軽スポーツ講座」を行い、両日参加者は15名、1日のみの参加は6名でした。28日午前中は人体の仕組みと体位変換の実技を学び、午後は体育館で軽スポーツを、29日は午前中は認知症ケアについて講義を聞き、午後は生活体験館GOKANで福祉用具を使った介護講座（実技中心）を実施しました。アンケート結果では満足したという回答が多かった半面、参加者数が予定より少なかったため収支は赤字で終わりました。

第2回目は、1回目の反省を踏まえ、10月8日の午前中のみの「介護体験研修講座」を行い、12名が参加しました。

アンケート結果を見ますと、各種機器の実地体験が出来てよかったとの回答が多く講座の効果は見られたと評価しています。自由記述では、在宅介護を中心に紙おむつの種類を増やす提案等もあり、大阪府看護協会にもアンケート結果を提供致しました。

第2号議案 第7期活動計算書報告と監査報告

別紙

平成24年度 監査報告書

私は平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計監査を行い、次の通り報告いたします。

1. 監査の報告

会計監査については、帳票並びに関係書類の閲覧、照合等により計算書類の正確性及び妥当性を検討した。

2. 監査意見

平成24年度の活動計算書に関しては、預金通帳等と関係書類等の照合の結果、適正に執行されており、係数も正確であると確認した。

平成25年5月22日

特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

監事

松本勉 